



2024年5月15日

各位

会社名 富士ダイス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 春田善和  
(コード番号：6167 プライム市場)  
問合せ先 業務本部長 高安真生  
(TEL. 03-3759-7182)

## 新中期経営計画（2025年3月期-2027年3月期）策定に関するお知らせ

当社は、このたび「新中期経営計画2026」（2025年3月期-2027年3月期）を策定しましたので下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 【「中期経営計画 2026」（2025年3月期-2027年3月期）の概要】

当社が「筋肉質な企業体質への転換、中長期的な成長基盤の構築」を目指し、2022年3月期より取り組んでまいりました中期経営計画の3年間が終了いたしました。前中期経営計画(2022年3月期-2024年3月期)はコロナ禍により減少した売上高をコロナ禍前の水準まで戻すとともに、生産性向上・業務効率化による収益性の向上と次世代新製品・新事業の育成・深耕と海外事業の強化による中長期の成長基盤の構築に取り組んでまいりました。

今回新たに策定した2025年3月期からの3年を対象とする「中期経営計画 2026」では、変化の激しい環境のもと顧客と社会の期待に応え成長し続けるため「変化に対応できる企業体質への転換」を中期方針としました。この方針のもと国内事業は成長の基盤（安定的に成長）とし、成長を牽引するのは海外事業、将来の成長基盤の育成として新事業の実現という方向性を定め、①経営基盤の強化、②生産性向上・業務効率化、③海外事業の飛躍、④脱炭素・循環型社会への貢献、⑤新事業の確立を成長戦略として持続的に取り組んでまいります。

主な取り組み事項、定量目標、株主還元方針は以下の通りです。

#### 1. 主な取り組み事項

##### (1) 経営基盤の強化

- ・サステナビリティ経営の推進  
(環境・社会課題解決への貢献、人的資本投資の強化、ガバナンスの充実)
- ・「あらゆる情報の見える化」、「お客様との接点強化」を進めるためのIT活用を含めた営業活動の強化
- ・データ化の推進、データに基づく意思決定の高度化
- ・ブランドイメージの社外浸透やインナーブランディングの強化

##### (2) 生産性向上・業務効率化

- ・国内営業部門における営業活動体制の再構築
- ・国内生産部門におけるロボット化等による自動化・省人化
- ・基幹システムの刷新、ワークフロー導入等によるデジタル化
- ・不採算製品の収益改善

### (3) 海外事業の飛躍

- ・次世代自動車関連製品の積極展開
- ・商社や現地の加工メーカーとの積極的な協業による顧客開拓
- ・インド・北米地域における拠点設置を含めた活動強化
- ・海外製造拠点の生産性向上

### (4) 脱炭素・循環型社会への貢献

- ・モーターコア用金型材種のラインナップ拡充
- ・次世代エネルギー分野に向けた触媒関連製品の開発
- ・省タングステン・コバルト合金の拡販
- ・温室効果ガス排出量の削減
- ・超硬工具・金型のリサイクル強化

### (5) 新事業の確立

- ・新規事業組織を発足予定(2024年7月)
- ・新規事業の早期実現に向けたM&A、業務提携の実施

## 2. 定量目標

	2024年3月期	2027年3月期
	実績	目標
売上高	16,678百万円	20,000百万円
営業利益	809百万円	2,000百万円
ROE	3.5%	7.0%

## 3. 株主還元方針

当社は、PBR1倍実現のため、財務の健全性を維持しつつ、成長投資と株主還元の両方を追及する観点から配当方針を見直し、「中期経営計画2026」の期間における配当を、財政状態及び経営成績を勘案したうえで「株主資本配当率(DOE)4%」を目途とし、加えて積極的かつ機動的な自己株式取得を行うことで、利益還元を行っていくことといたします。

詳細は、本日発表いたしました「剰余金の配当(増配)、配当方針の変更及び次期配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

新たな中期経営計画についての詳細については2024年5月30日に開示予定の「2024年3月期決算補足説明資料」にて公表いたします。

以 上